

写真家

ソール・ライターの原点



Origins in Color

2026.10/2 fri - 11/15 sun

開館時間：9:30～18:00(入館は17:30まで) 休館日：10/5(月)、13(火)、19(月)、26(月)、11/2(月)

観覧料：一般 1,400円(1,200円)・高大生 1,000円(700円)・小中生 800円(500円)

※()内は前売り料金及び20名以上の団体料金。年間パスポートまたは障害者手帳提示者は同料金で観覧できます。※所蔵品展も観覧できます。

前売り券取扱所：ファミリーマート(e+イープラス) <https://eplus.jp>、ローソン(ローソンチケット[Lコード 82080])、セブン-イレブン(チケットぴあ[Pコード 687-511])、南日本新聞販売所、鹿児島市内プレイガイド(山形屋・生協コープかごしま各店舗・川商ホール(鹿児島市民文化ホール)・高木画荘・集景堂) ※コンビニエンスストア及びネット販売は10月1日(木)まで、その他は完売まで。

主催：鹿児島市立美術館・南日本新聞社・KTS鹿児島テレビ 協力：ソール・ライター財団 企画制作：コンタクト

鹿児島市立美術館：〒892-0853 鹿児島市城山町4-36 TEL.099-224-3400 <https://www.city.kagoshima.lg.jp/artmuseum/>



鹿児島市立美術館
KAGOSHIMA CITY MUSEUM OF ART





part 1 New York 1950's

初期のモノクロ写真—1950年代頃の未発表スナップ写真作品群と、アンディ・ウォーホル、ロバート・ラウシェンバーグ、ジョン・ケーヅら後の巨匠たちの若き日のポートレートを展示します。



part 2 ソール・ライターとファッション

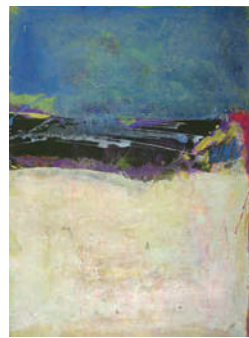
1958年、『ハーバーズ・バザー』のファッション・ページを依頼されるという大きな転機が訪れます。『ハーバーズ・バザー』の誌面から、ライターのファッション写真の足跡を紹介します。

ソール・ライターの原点

ニューヨークを拠点に鮮烈な色彩と独自の視点で都市に生きる人々の姿を切り取った写真家、ソール・ライター (1923~2013)。写真史において芸術としての写真は長らくモノクロが中心であったなか、商業用とみなされていたカラー写真で自身の表現を追究した彼は、「カラー写真のパイオニア」と称されています。

当初画家を志して1946年にピッツバーグからニューヨークへ移住したライターは、1958年にファッション誌『ハーバーズ・バザー』のカメラマンとなりました。以降、1980年代まで多くの雑誌でファッション写真を手がけ人気を博します。その傍らで、ニューヨークの街を舞台に繰り広げられる日常を写し続け、絵画も描きました。

50代半ばであった1981年、ライターは商業写真スタジオを閉じ、キャリアの表舞台から姿を消します。そして、自身の美意識に基づいたカラー写真作品の制作に専念、2006年に初の写真集『Early Color』を発表すると、同書は芸術としてのカラー写真が見直される

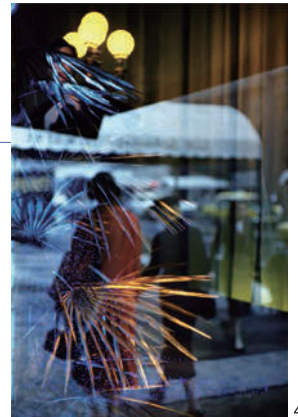


part 4 色彩の世界へ

カラー写真のプリントは技術的に複雑で費用もかかることから、ライターは長年自身の写真をスライドの状態で見えていました。本展ではプロジェクターによる投影を通じて、彼が見ていたイメージを再現します。

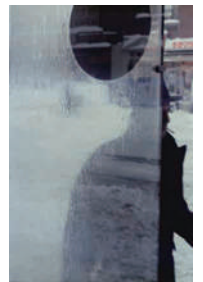
part 3 カラーの源泉 ～画家ソール・ライター

もともと画家志望であったライターは、写真で名声を得てからも生涯絵画を描き続けました。ライターの絵画と写真を同時に展示することで、唯一無二のカラー写真が生まれた源泉を探ります。



契機のひとつとなりました。2008年に大規模な回顧展が開催され、2012年にはドキュメンタリー映画も製作されるなど、隠遁生活のような後半生を過ごしていたライターは、晩年再び脚光を浴びることとなったのです。

日本でも2017年以降に各地で開催された回顧展が大きな話題を呼びました。本展ではライターの色彩感覚をテーマに、初期から晩年までの写真だけでなく、絵画や没後に発見されたカラースライドなど様々な作品を通じて、創作活動の源泉に迫ります。「ニューヨークが生んだ伝説の写真家」ソール・ライターの色彩と詩情にあふれた世界をお楽しみください。



1.《無題》1950年代、ゼラチン・シルバー・プリント 2.『ハーバーズ・バザー』1963年2月号のための撮影カット、発色現像方式印画 3.《私のお気に入りの1点》1960年頃、紙にグアッシュ、カゼイン、水彩 4.《無題》撮影年不詳、発色現像方式印画 5.《無題》撮影年不詳、発色現像方式印画 すべてソール・ライター © Saul Leiter Foundation

関連イベント ※各イベントの詳細や申込方法は9月中旬以降に当館ホームページをご確認ください。

記念ワークショップ ともに ※事前申込制・各回定員を超えたら抽選

- 1 親子で体験! 暗室で写真をプリントしてみよう
- 2 暗室体験!? フィルムから写真を現像してみよう

日時: 10月18日(日)・25日(日)
① 各日10:00~12:30
② 各日14:00~16:30
講師: フカヤケンイチ氏 (フォトグラファー)
会場: 鹿児島市立美術館
対象: ① 小学4年生~中学3年生とその保護者
② 高校生以上
定員: ① 各回5組 (10人)
② 各回10人



作品解説会 ※申込不要・要観覧券

担当学芸員によるスライドトーク

展覧会の見どころをわかりやすく解説します。

日時: 10月10日(土)・24日(土)
11月7日(土)
各日14:00~15:00
会場: 市民アトリエ(1) 当館地下
対象: どなたでも
定員: 各回先着30人
(13:30から整理券配布)

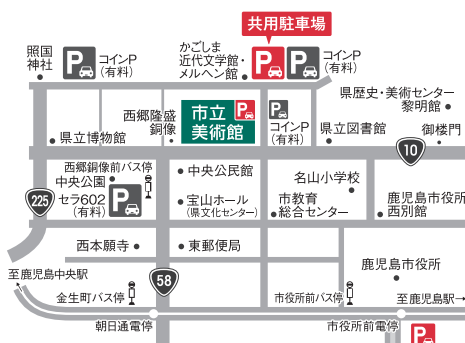
アクセス案内

- 市電「朝日通」、バス「金生町」下車徒歩5分
- カゴマンティビュバス「西郷銅像前」下車徒歩1分
- 鹿児島北インターより車で20分
- JR鹿児島中央駅より車で10分

駐車場案内

※駐車可能台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

- 美術館駐車場 (美術館正面向かって右側の道路沿い)
 - 普通車6台
- 共用駐車場 (メルヘン館隣)
 - 普通車31台、大型バス3台 (マイクロバス7台)
 - (無料、利用時間/9:30~18:00、バスは要予約)
 - ※駐車券を美術館1F総合案内へお持ちください。
- 周辺駐車場
 - 鹿児島市役所みなと大通り別館駐車場 (無料、利用時間/平日8:30~19:00・土日祝9:00~19:00)
 - ※駐車券を美術館1F総合案内へお持ちください。
 - 美術館周辺民間駐車場 (有料、マップ参照)
 - 近隣施設駐車場/黎明館、近代文学館・メルヘン館 (無料)
 - ※美術館駐車場が満車の場合に限り、長時間の駐車はお控えください。各施設の都合によりご利用いただけない場合がございます。



鹿児島市立美術館
KAGOSHIMA CITY MUSEUM OF ART

〒892-0853 鹿児島市城山町4-36
TEL.099-224-3400
https://www.city.kagoshima.lg.jp/artmuseum/

※会場内の温湿度と明るさは、作品の保存に適した値まで下げています。ご理解のうえ体温調節ができる服装でのご来館をお勧めします。

展覧会コラボレーション企画

ガーデンズシネマ上映【10/2(金)~11/15(日)】

※途中休憩・休映あり ※相互のチケット半券で当日料金100円引き

写真家ソール・ライター 急がない人生で見つけた13のこと

1940年代から豊かな表現力でNYを撮影したカラー写真の先駆者で、有名ファッション誌の表紙を飾った伝説の写真家。80年代表舞台から姿を消すが、2006年ドイツ・シュタイデル社から写真集が出版され再評価。彼の半生を追う。

(映画案内文より)



SHIROYAMA HOTEL kagoshima 【10/1(木)~11/15(日)】

- ★本展チケットの半券提示で10%割引 (500円割引)
- ★ポストカードプレゼント (無くなり次第終了)

ザ ラウンジ カサブランカにて

芸術の秋を彩る 特別なアフタヌーンティー。

鹿児島市立美術館と初のコラボレーション企画として開催。写真家として世界的に評価されるソール・ライターの色彩豊かな作品の世界をホテルの料理長たちがスイーツとセイボリーで表現いたします。美術鑑賞の余韻とともに、心豊かなひとときをお楽しみください。

※写真はイメージです

同時開催

秋の所蔵品展 9/15[火]~11/29[日]

特集 在りし日を想う~所蔵作家、作品と写真資料

※「写真家ソール・ライターの原点 Origins in Color」開催中は同展の観覧券でご覧いただけます。



写真家
ソール・ライターの原点 Origins in Color

観覧割引券 本券持参の場合 当日料金より 100円割引

※2名様まで有効。他の割引との併用は不可。